



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ みんなで気づく（築く）さわやか天栄

2018.5.15

教育委員会だより No.82



少し不便だけれど 魅力いっぱい 天栄村！

発行：天栄村教育委員会

日々の授業改善をいかに楽しむか

4月20日（金）に開催された「算数・数学科授業づくり講演会」に参加し、文部科学省国立教育施策研究所調査官の講演を聴講してきました。その講演会の中で印象に残った内容を紹介します。

授業こそ学校の命。子どもと向き合う時間をじっくり・たっぷりともつことのできるのは授業ですね。「できた！」と喜ぶ姿、「先生、次は〇〇をやってみたい！」と学びを自ら獲得しようとする姿、「〇〇さんの考えを生かして・・・」「〇〇さんが教えてくれたから・・・」とその学級だからこそ味わえた学ぶことよさを実感する姿など、子ども一人一人の学びの変容を見取り、学びが高まっていく過程や姿を楽しみにしていくことが授業改善の第一歩なのではないでしょうか。そのためには、授業の終末で、どのような学びの姿を求めているのか具体的に構想しておくことが大切になってきますね。

この講話を聴講し、改めて「子どもがもっている内なる力を、引き出し、称賛したり価値付けたりしながら、子どもの心に意味付けていく教師の関わりが、資質・能力育成への授業改善の根底にある」と感じました。

◆ 「問い」が高める学びの質 ◆

ふくしまの「授業スタンダード」が配付されてから1年が経ち、各学校で、「問い」が改めて見つめ直されてきているのを感じます。授業で発せられる問いには、①教師から発するもの、②子どもの内面から引き出されるものの二つがあり、特に、子ども主体の学びを展開していくために、②を意識した「問いでデザインする学び」が多くの学校で展開されてきています。

改めて、「問い」の主な作用についてまとめてみました。

- 子どもたちの興味や関心を高め、思考を刺激する。
- 思考を広げる。意図や関係性を読み取る。
- 洞察する。批判的思考を促す。
- 獲得した学びや物事を見る視点を活用する。

切実感や意外性のある問いが今日の授業の中で引き出されたかを子どもの学びの姿で語り合い、考えるだけでも、日々の授業改善に結びついていくはずですね。

<例えば・・・>

運動会のリレーの練習場面。みんな、必死になって走り、応援する。きっと手を抜いている子どもは皆無でしょう。そのような姿が見られるのは、「勝ちたい」「速く走りたい」「抜かされたくない」など、子ども一人一人に切実感のある問いが引き出されているからです。そして、「どうすれば勝てるのか」と思考し始め、試してみる。この繰り返しで学びを深めていくのでしょう。

<ちょこっとコーナー> ～授業研究どこで見える？～

研究授業を参観する際、教室のどの位置で参観しますか？

- ① 教室の前方 ② 教室の横 ③ 教室の後方

それぞれの位置には意味がありますね。①だったら、子どもの表情の変化やうなずきなどから見える子どもが動き出す瞬間を授業者の目線で見取ることができますね。

②や③にも意味があります。授業者の立場になって参観するのか、子どもの立場になって参観するのか、意味をもって参観すると、授業を見る目も変わってきますね。

～すてきな天栄つ子の姿～

ある日の夕方のことです。役場職員が、村役場庁舎の花壇に花の苗を植える作業をしていました。そこへ通りかかった中学生5人組。その5人組は、嫌な顔一つせず、快く苗植えの作業を手伝ってくれました。自ら進んであいさつをする子どもが多い天栄村。中学生5人組のさわやかな笑顔とあいさつに心癒された一場面でした。



生涯学習事業

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択していけるよう、必要な学習環境を整え、村民の主体的な学習活動を支援出来るよう取り組んでいます。

○天栄村体育協会総会

4月26日（月）生涯学習センターを会場に平成30年度天栄村体育協会総会が行われました。総会の中では昨年度に優秀な成績を収めた個人や団体の表彰が行われました。

また、主に体育協会主催で行われる行事や、体育協会が支援する行事等について話し合われました。平成30年度、31年度の役員改選では、会長に瀬和マユミさん、副会長に佐藤照昭さん、瀬和規久雄さんが選出され、気持ち新たに天栄村のスポーツの振興を目指していきます。



○平成30年 寿大学開講式

5月7日（月）に、天栄村生涯学習センターを会場に平成30年度高齢者学級「寿大学」の開講式を開催されました。式の中では村歌「伸びゆく天栄」斉唱や、ラジオ体操を行いました。また、アトラクションとして郡山奇術研究会の藤天龍さんがおいでくださり、笑い与健康についての講話や、マジックショーなどで会場を楽しませていただきました。

今年度は昨年度に比べ学生数も増え、賑やかな雰囲気でのスタートとなりました。



○文化財保護審議会・ふるさと文化伝承館運営協議会

5月9日（水）に生涯学習センターにて、平成30年度文化財保護審議会、ふるさと文化伝承館運営協議会が開催されました。

会の中で、平成30年度・平成31年度の文化財保護審議会委員、ふるさと文化伝承館運営協議会委員に委嘱状が手渡されました。文化財保護審議会では今年度の文化財パトロールについての計画等について話し合いが行われ、ふるさと文化伝承館運営協議会では、村内小学6年生を対象とした歴史学び教室などの様々な事業について話し合いを行いました。

